

省エネ・環境性能にすぐれた LCCM 住宅/ZEH 基準に標準対応 未来の基準を先取りした商品「SINKA」シリーズを販売開始

サーラ住宅株式会社（本社：愛知県豊橋市、代表取締役社長：大場吉恭）は、注文住宅を 2050 年および 2030 年の省エネルギー基準を先取りした商品体系へ一新し、LCCM 住宅（ライフ・サイクル・カーボン・マイナス）に標準対応したハイエンドモデル「SINKA-G」および、ZEH 基準に標準対応した「SINKA」を 6 月 2 日から販売開始します。



近年住宅業界では、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みが活発になり、新築住宅においても 2025 年の建築物省エネ法により定められた省エネ基準の適合義務化や、2030 年の ZEH・ZEB 水準への適合義務化が予定されています。

これまで当社は、産学協同研究を通じて「外断熱工法」はじめ独自の技術開発に取り組み、住まいの基本性能と耐久性、保証・アフターサービスにこだわり続けてきました。ZEH 基準の断熱性能を有する住宅を標準仕様とし供給してまいりましたが、2050 年基準を先取りした LCCM モデルの発売と ZEH モデルの性能強化を行います。

【主な仕様・スペック】

1. 「LCCM 住宅/ZEH 基準」に標準対応した断熱性能を実現

※SINKA-G : LCCM 住宅

LCCM (ライフ・サイクル・カーボン・マイナス) とは、建設時から廃棄する時まで、住宅の生涯にわたって CO2 の収支をマイナスにする住宅のこと

※SINKA : ZEH 基準

ZEH (ネット・ゼロ・エネルギーハウス) とは、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロになる住宅のこと

2. 「全館調湿換気システム」標準採用 (SINKA-G) により、湿度をコントロールしてさらなる快適を実現。

「熱交換アレルバスター換気システム」標準採用 (SINKA) により、PM2.5 に対応したアレルバスター機能と換気に伴うエネルギー損失を防ぐ熱交換機能を搭載し、快適な室内環境を実現。

3. 「制震システム」標準採用により、東南海地震や繰り返し発生する余震に備えた耐震性を確保。

4. 「国産材使用率 100%」(うち、抗菌性や防蟻性など耐久性と強度にすぐれた「ひのき」を 9 割以上使用)

により、輸送に伴う環境負荷を低減しつつ、炭素固定による CO2 排出抑制を実現。

国内の林業支援と国土保全に貢献。 ※土台、柱、梁、筋交い、剛床などの主要構造体に占める割合

5. 「高耐候仕様」を標準採用し、足場の設置が必要な屋根や外壁塗装などのメンテナンス工事が 30 年間不要に。

6. 「屋根断熱+外張断熱+基礎断熱 (=まるごと外断熱)」採用により、輻射熱の影響を抑えて快適に

過ごせるだけでなく、断熱区画内の余剰空間を利用した「天空間」など、収納や趣味を楽しむスペースなど自由で夢の広がる空間提案にも対応が可能。

当社は豊橋・浜松エリアを中心に東海地方のエネルギー供給を支え、地域とともに発展してきたサーラグループの一員として、お客さまの家づくりに寄り添い、信頼されるパートナーであり続ける会社を目指すとともに、ご家族の暮らしを長く守る「未来を守る住まい」をお届けします。

▼「SINKA」ティザーサイト URL : <https://sala-house.co.jp/chuumon/products/sinka/>



【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

サラ住宅株式会社 本社営業部 担当：坂田・田平 TEL : 0532-32-7272 Mail : info@sala-house.co.jp